

## 通信の機能設定 ～設定モード～

通信方式、各種 ID、各機能の設定を行うことができます。

項目	表示	初期値	設定値	機能
C01 通信方式	C01. CLMOD	UC	UC/PR	通信方式の選択
C02 自局ID	C02. MY-ID	001	001 ~ 200	自局IDの設定
C03 グループID	C03. MYGID	01	01 ~ 30	グループIDの設定
F01 ビープレベル	F01. BEEP	08	00 ~ 15	操作音(ビープ音)の音量設定
F02 外部マイク感度	F02. EXMIC	LV 0	-18/-12/-6/-3/0 +3/+6/+10	外部マイクの感度設定
F03 内部マイク感度	F03. INMIC	LV 0	-18/-12/-6/-3/0/ +3/+6/+10	本体内部マイクの感度設定
F04 送信出力	F04. TXPWR	HIGH	OFF/LOW/MID/HIGH	送信出力の設定
F05 緊急モード	F05. EMERG	OFF	EMRTX/EBEEP/OFF/ BP+T/SILNT	緊急モードの動作設定
F06 スキャン	F06. SCAN	OFF	OFF/ON	スキャン機能の設定
F07 スキャンCH	F07. SC-CH	CH15	CH01 ~ CH30	スキャンチャンネル番号の設定
F08 スキャンPTT	F08. SC-PT	STDBY	STDBY/SCH	スキャン機能の動作中のPTT動作設定
F09 スキャン受信設定	F09. SC-RX	ON	ON/OFF	スキャン機能の着信後のスキャン再開設定
F10 自動電源オフ	F10. AT-P0	OFF	OFF/ON	電源切れ忘れ防止機能の設定
F11 PTT ホールド	F11. PTHLD	OFF	OFF/ON	PTT ホールド動作の設定
F12 外部スピーカー設定	F12. E-SPK	STD	STD/OPT	外部スピーカーの切り替え設定
F13 スーパーセーブ	F13. SSAVE	OFF	OFF/ON	電池パックの持ち時間をセーブ
F14 プログラムブリーキー	F14. P-KEY	SCAN	SCAN/MUTE	プログラマブルキーの設定
S01 シリアル番号確認	S01. S/N	-	-	販売店および営業所サービス確認用
S02 CSMコード確認	S02. CSM	-	-	販売店および営業所サービス確認用
F99 設定リセット	F99. RESET	OFF	OFF/ON	設定モードの設定値を初期値(ご購入時の状態)に戻します

設定モードの具体的な操作方法は、37 ページ以降を参照してください。

## C01.CLMOD (通信方式)

UC 通信方式と個別通信方式を切り換えることができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE] キーを放します。  
[MODE] キーを長押しするごとに設定モードの項目を後退します (F99.RESET → S02. CSM... に後退します)。
- ② [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、希望の通信方式を選択します。

UC (初期値)	UC 通信方式で運用するとき。
PR	個別通信方式で運用するとき。

[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ④ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の通信方式 (点滅)



希望の通信方式 (点滅)

## C02.MY-ID (自局 ID) ～個別通信方式で使用する設定です～

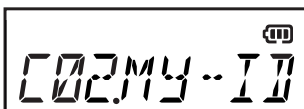
トランシーバーに設定されている自局の ID (自局の個別番号) を変更することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE] キーを放します。
- ② [MODE] キーを数回押して、“C02.MY-ID” を選択します。  
[MODE] キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲] または [▼] キーを押して、希望の ID を選択します。  
[▲] または [▼] キーを長押しすると早送りすることができます。

001(初期値)～200	自局 ID を設定します。
--------------	---------------

[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の自局 ID (点滅)

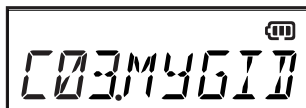


希望の自局 ID (点滅)

## C03.MYGID (グループ ID) ～個別通信方式で使用する設定です～

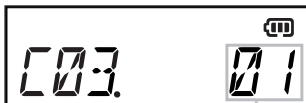
トランシーバーに設定されているグループ ID を変更することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE] キーを放します。



- ② [MODE] キーを数回押して、“C03.MYGID” を選択します。

[MODE] キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。

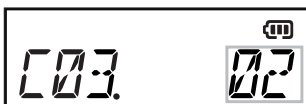


現在のグループ ID (点滅)

- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。

- ④ [▲] または [▼] キーを押して、希望の ID を選択します。

01(初期値)～30 グループ ID を設定します。



希望のグループ ID (点滅)

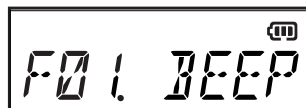
[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## F01. BEEP (ビープレベル)

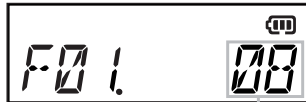
キーやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE] キーを放します。



- ② [MODE] キーを数回押して、“F01. BEEP” を選択します。

[MODE] キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。

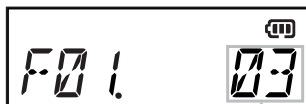


現在の音量レベル (点滅)

- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。

- ④ [▲] または [▼] キーを押して、希望の音量を選択します。

00～08(初期値)～15 音量レベルを調整します。



希望の音量レベル (点滅)

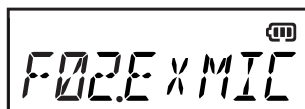
[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## F02.EXMIC (外部マイク感度)

外部マイクロホンのマイク感度を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの “C01.CLMOD” が表示され [MODE] キーを放します。



- ② [MODE] キーを数回押して、“F02.EXMIC” を選択します。  
[MODE] キーを長押しすることにより、設定モードの項目を後退します。



現在のマイク感度 (点滅)

- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。

- ④ [▲] または [▼] キーを押して、希望の感度を選択します。  
マイク感度は、下記の 8 段階から選択することができます。



希望のマイク感度 (点滅)

(低)-18⇔-12⇔-6⇔-3⇔0(初期値)⇔+3⇔+6⇔+10(高)

外部マイクの感度を調整します。

[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## F03.INMIC（内部マイク感度）

トランシーバー本体に内蔵してあるマイクのマイク感度を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れると、“VXD1”→“SET.MODE”が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE] キーを放します。
- ② [MODE] キーを数回押して、“F03.INMIC”を選択します。  
[MODE] キーを長押しすることにより、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲] または [▼] キーを押して、希望の感度を選択します。  
マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低)-18⇐-12⇐-6⇐-3⇐0(初期値)⇐+3⇐+6⇐+10(高)
内部マイクの感度を調整します。

[MODE] キーを長押しして、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



現在のマイク感度（点滅）

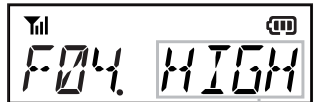
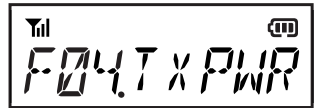


希望のマイク感度（点滅）

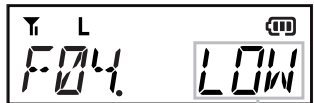
## F04.TXPWR（送信出力）

送信出力（発射する電波の強さ）を“HIGH”（1W）、“MID”（0.5W）、“LOW”（0.2W）から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“MID”または“LOW”に設定してください（ディスプレイに“L”が点灯します）。また、本機を受信専用機として使用する場合は“OFF”に設定してください。

- ① 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れると、“VXD1”→“SET.MODE”が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE]キーを放します。
- ② [MODE]キーを数回押して、“F04.TXPWR”を選択します。  
[MODE]キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲]または[▼]キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲]または[▼]キーを押して、希望の設定を選択します。



現在の設定（点滅）



希望の設定（点滅）

OFF	PTTスイッチを押しても、送信しません（受信専用）。
LOW	送信出力が 0.2W に設定されます。
MID	送信出力が 0.5W に設定されます。
HIGH（初期値）	送信出力が 1W に設定されます。

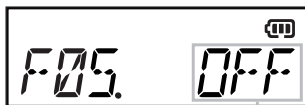
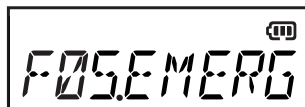
[MODE]キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE]キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## F05.EMERG（緊急モード）

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE] キーを放します。
- ② [MODE] キーを数回押して、“F05. EMERG”を選択します。  
[MODE] キーを長押しすることにより、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲] または [▼] キーを押して、希望の設定を選択します。



現在の動作（点滅）



希望の動作（点滅）

EMRTX	<p>自局の ID を含んだ緊急信号を送出します。また、緊急動作中に PTT スイッチを押すと、相手局と通話することができます。</p> <p>補足：この設定は、個別通信方式時のみ動作します。UC 通信方式時の場合「ポポッ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。</p>
EBEEP	<p>トランシーバーのスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。</p>
OFF（初期値）	<p>緊急アラーム機能は動作しません。</p>
BP+T	<p>“EMRTX” の動作を行った後、“EBEEP” の動作を行います。</p> <p>補足：この設定は、個別通信方式時に使用しますが、UC 通信方式時に使用した場合は “EBEEP” の動作のみ行います。</p>
SILNT	<p>サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示と LED は緊急動作中も変化しません。また、緊急動作中に PTT スイッチを押すと、相手局と通話することができます。</p> <p>補足：この設定は、個別通信方式時のみ動作します。UC 通信方式時の場合「ポポッ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。</p>

[MODE] キーを長押しして、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## F06. SCAN (スキャン)

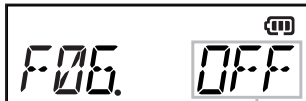
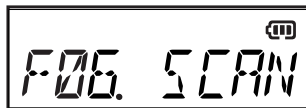
現在のチャンネルと設定したチャンネルを交互に受信し、信号が入感したチャンネルを自動的に受信することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE”が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE]キーを放します。
- ② [MODE]キーを数回押して、“F06. SCAN”を選択します。  
[MODE]キーを長押しすることにより、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲]または[▼]キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲]または[▼]キーを押して、スキャン機能のON/OFFを選択します。

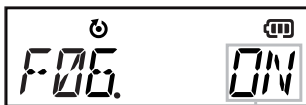
OFF (初期値)	スキャン機能はOFFになります。
ON	スキャン機能が動作し、信号が入感したチャンネルを受信します。

[MODE]キーを長押しして、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE]キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定 (点滅)



希望の設定 (点滅)



## F07.SC-CH (スキャン CH)

現在のチャンネル(通話チャンネル)と交互に受信したいチャンネル(スキャンチャンネル)を設定します。

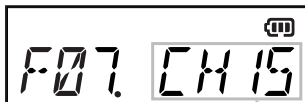
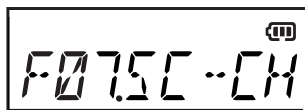
- ① 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れると、“VXD1”→“SET.MODE”が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE]キーを放します。
- ② [MODE]キーを数回押して、“F07. SC-CH”を選択します。  
[MODE]キーを長押しすることにより、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲]または[▼]キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲]または[▼]キーを押して、希望のスキャンチャンネルを選択します。

CH01⇄CH02⇄・・・⇄CH15(初期値)⇄・・・⇄CH29⇄CH30

スキャンチャンネルを設定します。

[MODE]キーを長押しして、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE]キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定 (点滅)



希望の設定 (点滅)

## F08.SC-PT (スキャン PTT)

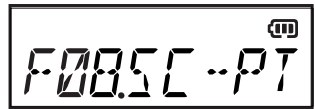
スキャン機能動作時の PTT( 通話 ) スイッチ操作で送信状態になるチャンネルを設定することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの “C01.CLMOD” が表示され [MODE] キーを放します。
- ② [MODE] キーを数回押して、“F08. SC-PT” を選択します。  
[MODE] キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲] または [▼] キーを押して、希望の動作を選択します。

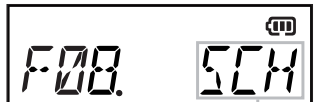
STDBY ( 初期値 )	通話チャンネルで送信します。
SCH	スキャンチャンネルで送信します。

[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定 (点滅)



希望の設定 (点滅)

## F09.SC-RX（スキャン受信設定）

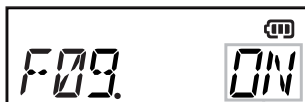
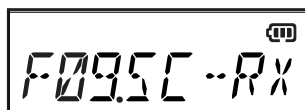
スキャン機能動作時に信号を受信した際、その後スキャンを再開させるかどうかを設定することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの “C01.CLMOD” が表示され [MODE] キーを放します。
- ② [MODE] キーを数回押して、“F09.SC-RX” を選択します。  
[MODE] キーを長押しすることにより、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲] または [▼] キーを押して、スキャン機能再開の ON/OFF を選択します。

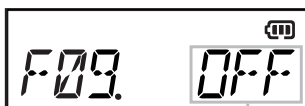
ON（初期値）	スキャン機能が再開します。
OFF	スキャン機能は OFF になります。

[MODE] キーを長押しして、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定（点滅）



希望の設定（点滅）

## F10.AT-PO（自動電源オフ）

2 時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を OFF にし、電池の消耗を防ぎます。1 分前に警告音が鳴り、電源が切れます。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの “C01.CLMOD” が表示され [MODE] キーを放します。
- ② [MODE] キーを数回押して、“F10.AT-PO” を選択します。  
[MODE] キーを長押しすることにより、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲] または [▼] キーを押して、自動電源オフの ON/OFF を選択します。



現在の設定（点滅）



希望の設定（点滅）

OFF（初期値）	自動電源オフの設定を OFF にします。
ON	自動電源オフの設定を ON にします。

[MODE] キーを長押しして、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## F11.PTHLD ( PTT ホールド )

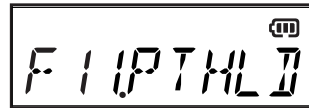
初期値は [ 通話 (PTT) ] を押し続けている間送信し、放すと待ち受けの状態になりますが、“ON” に設定すると [ 通話 (PTT) ] を一度押すと送信状態のままになり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付き PTT スイッチに変更することができます。

連続送信時間は最大 5 分間で、5 分が経過すると、自動的に待ち受けの状態に戻り、約 2 秒間 “プープープ” と警告音が鳴り、約 1 分間送信することができません。

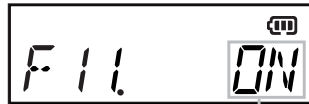
再び送信したい場合は、1 分以上経過してから再度 [ 通話 (PTT) ] を押してください。

**注意** PTT ホールドは、トランシーバー本体の PTT スイッチのみ有効となります。(外部マイク等のオプション使用時には設定を必ず OFF にしてください。)

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの “C01.CLMOD” が表示され [MODE] キーを放します。
- ② [MODE] キーを数回押して、“F11.PTHLD” を選択します。  
[MODE] キーを長押しすることにより、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲] または [▼] キーを押して、PTT ホールド機能の ON/OFF を選択します。



現在の設定 (点滅)



希望の設定 (点滅)

OFF (初期値)	PTT ホールド機能を OFF にします。
ON	PTT ホールド機能を ON にします。

[MODE] キーを長押しして、選択をキャンセルすることができます。

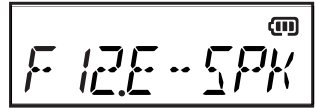
- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## F12.E-SPK（外部スピーカー設定）

オプションのスピーカーマイクロホン MH-73A4B と MH-57A4B のスピーカーオーディオ特性を最適な特性に補正するための機能です。

上記のスピーカーマイクロホンを接続して使用するときは必ず“OPT”に設定してください。

- ① 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE] キーを放します。



- ② [MODE] キーを数回押して、“F12.E-SPK” を選択します。  
[MODE] キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。



現在の設定（点滅）

- ③ [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。

- ④ [▲] または [▼] キーを押して選択します。

STD（初期値）	補正は行いません。
OPT	最適な特性に補正します。



希望の設定（点滅）

[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## F13.SSAVE (スーパーセーブ)

待ち受け状態で約 2 秒間キー操作がないと電池パックの消費を防ぐ機能が動作します。信号を受信時またはキー操作を行うとセーブ機能は解除されます。

補足

- スーパーセーブを“ON”に設定すると、PTTスイッチを押して送信を始めた際に電子音が鳴ります(送信ビープ)ので、鳴った後に話をしてください。スーパーセーブを“OFF”に設定すると、送信ビープも“OFF”になります。
- スーパーセーブは相手も同様“ON”に設定することで機能を発揮します。

- ① 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れると、“VXD1”→“SET.MODE”が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE]キーを放します。
- ② [MODE]キーを数回押して、“F13.SSAVE”を選択します。  
[MODE]キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲]または[▼]キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲]または[▼]キーを押して選択します。

OFF (初期値)	スーパーセーブ機能をOFFにします。
ON	スーパーセーブ機能をONにします。

[MODE]キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE]キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定 (点滅)



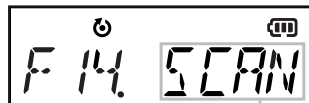
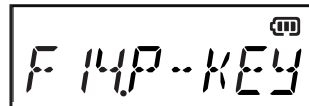
希望の設定 (点滅)

セーブ機能をONにすると、受信中頭切れを起こすことがあります。

## F14.P-KEY (プログラマブルキー設定)

プログラマブルキーを別の機能に変更することができます。初期値は“2チャンネルスキャン”(32ページ参照)で“ワンタッチミュート”(33ページ参照)に変更可能です。

- ① 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れると、“VXD1”→“SET.MODE”が表示され、その後、設定モードの“C01.CLMOD”が表示され [MODE]キーを放します。
- ② [MODE]キーを数回押して、“F14.P-KEY”を選択します。  
[MODE]キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。
- ③ [▲]または[▼]キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲]または[▼]キーを押して選択します。

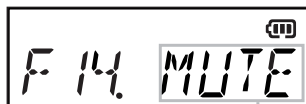


現在の設定 (点滅)

SCAN(初期値)	2チャンネルスキャンに設定します。
MUTE	ワンタッチミュートに設定します。

[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。



希望の設定 (点滅)

## S01. S/N (シリアル番号確認)

販売店および営業所サービスの確認用です。

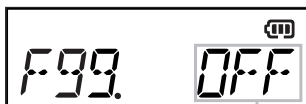
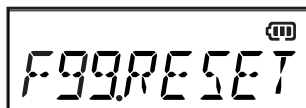
## S02. CSM (CSM コード確認)

販売店および営業所サービスの確認用です。

## F99. RESET (設定リセット)

設定モードの設定値を初期値 (ご購入時の状態) に戻します。

- 一度電源を切り、[MODE] キーを押しながら電源を入れると、“VXD1” → “SET.MODE” が表示され、その後、設定モードの “C01.CLMOD” が表示され [MODE] キーを放します。
- [MODE] キーを数回押して、“F99.RESET” を選択します。  
[MODE] キーを長押しするごとに、設定モードの項目を後退します。
- [▲] または [▼] キーを押して、設定画面の表示にします。
- [▲] または [▼] キーを押して、設定リセットの ON/OFF を選択します。



リセット中止 (点滅)



リセット開始 (点滅)

OFF (初期値)	設定リセットを中止します。
ON	設定リセットを開始します。

[MODE] キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE] キーを押します。
- ON に設定した場合：
- “REALLY” が表示されます。  
[▲] または [▼] キーを押すと、手順④に戻ります。
  - [MODE] キーを押すと “SUCCEED” が一瞬表示されリセットされます。
- OFF に設定した場合：手順②に戻ります。

- ⑥ 電源を切ります。

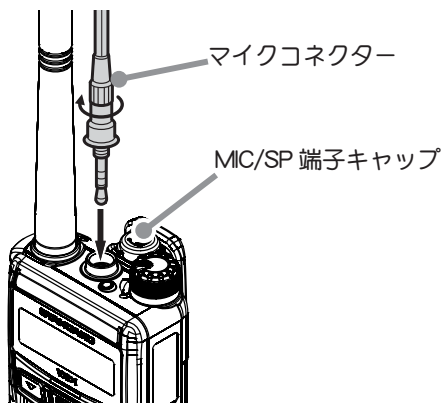


## オプションのマイクロホン取り付け

ねじ込み式の防水コネクタを使用しています。MIC/SP 端子キャップを外し、マイクロコネクタを挿し込み右へまわしぎってしっかりと締めつけて取り付けます。

### 注意

- オプション類は、トランシーバーの電源を切った状態で取り付けてください。
- 締め込みが不十分な場合、接触不良を起こし通話できないことがあります。



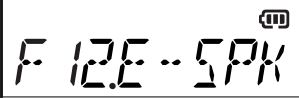
### 補足

- マイクロコネクタの端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になって、正しく使用できなくなります。
- オプションを接続しないときは、MIC/SP 端子キャップを雨水等が入らないように確実に取り付けてください。

## オプションのマイクロホン補正設定

オプションのスピーカーマイクロホン (MH-73A4B、MH-57A4B) を使用した際、マイクロホンのスピーカーオーディオ特性を最適な特性に補正することができます。上記のスピーカーマイクロホンを接続して使用するときは必ず“OPT”に設定してください。

- ① 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れ、設定モード画面の“C01.CLMOD”が表示されます。
- ② [MODE]キーを数回押して、“F12.E-SPK”を選択します。
- ③ [▲]または[▼]キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲]または[▼]キーを押して「OPT」に選択します。



STD (初期値)	補正は行いません。
OPT	最適な特性に補正します。

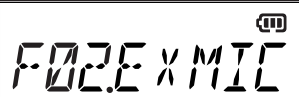
[MODE]キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE]キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## オプションのマイクロホン感度切り替え方法

オプションのマイクロホンを使用した際、マイク感度を調節することができます。

- ① 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れ、設定モード画面の“C01.CLMOD”が表示されます。
- ② [MODE]キーを数回押して、“F02.EXMIC”を選択します。
- ③ [▲]または[▼]キーを押して、設定画面の表示にします。
- ④ [▲]または[▼]キーを押して、希望の感度を選択します。  
マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。



希望のマイク感度 (点滅)

(低)-18⇐-12⇐-6⇐-3⇐0(初期値)⇐+3⇐+6⇐+10(高)
外部マイクの感度を調整します。

[MODE]キーを長押しで、選択をキャンセルすることができます。

- ⑤ [MODE]キーを押します。  
その後電源を切ると設定は終了です。

## 故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？ 修理を依頼される前に、お確かめください。

### ◎ 電源が入らない！

- ・ 電池パックが消耗していませんか？  
▶▶▶ 電池パックを充電してください。
- ・ 電池パックの端子が接触不良になっていませんか？  
▶▶▶ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ 電池パックが古くなっていませんか？  
▶▶▶ 電池パックの寿命です。  
新しい電池パックとお取り替えください。

### ◎ 送信できない！

- ・ PTT スイッチを正しく押していますか？
- ・ 送信出力の設定が“OFF”になっていませんか？
- ・ 上空用チャンネルになっていませんか？  
▶▶▶ “CH S1” ~ “CH S5” の上空チャンネルは、モニターのみで送信することはできません。

### ◎ 通話できない！

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- ・ 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
- ・ 相手局と同じユーザーコードに設定していますか？
- ・ 秘話通信機能が動作していませんか？  
▶▶▶ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

## オプション一覧表

品名	型番
ベルトクリップ（構成品と同等）	CLIP-25
標準型リチウムイオン電池パック（構成品と同等）	BT7X
急速充電器（構成品と同等）	CD-63
急速充電器用 AC アダプター（構成品と同等）	PA-57A
スタビアンテナ（構成品と同等）	ATU-12J
ウルトラスタビアンテナ	ATU-17J
ホイップアンテナ	ATU-6J
防浸型スピーカー / マイクホン	MH-73A4B*
スピーカー / マイクホン	MH-57A4B*
タイピンマイク	MH-62A4B*
VOX ヘッドセット	VC-24*
インターコム型ヘッドセット	YH-100
インターコム型ヘッドセット用 PTT ケーブル	CT-87*

※：ねじ込み式の防水コネクターを使用しているため接続をするときは、十分に締めこんでご使用ください。

締め込みが不十分な場合、接触不良を起こし通話できないことがあります。

詳細等はカタログ及び八重洲無線株式会社のホームページ <http://www.yaesu.com/jp/> を参照してください。

# 定 格

## 一般

送 受 信 周 波 数	: デジタル簡易無線登録局 (6.25kHz 間隔、30 波) 351.20000MHz ~ 351.38125MHz 上空用チャンネル (6.25kHz 間隔、5波) 351.16875MHz ~ 351.19375MHz(モニターのみ可)
電 波 型 式	: F1E / F1D
通 信 方 式	: 単信 (プレストーク) 方式
電 池 持 続 時 間	: BT7X (構成部品) スーパーセーブ機能 ON 時: 約 13 時間 スーパーセーブ機能 OFF 時: 約 10 時間 (送信出力 1W 時、送信5、受信5、待ち受け 90 の繰り返し)
電 源 電 圧	: DC 3.7V $\pm$ 10%
温 湿 度 範 囲	: 温度 - 10°C ~ + 60°C 湿度 95%(35°C)
本 体 寸 法	: 55mm $\times$ 91mm $\times$ 27mm
本 体 重 量	: 約 197g(BT7X、ベルトクランプ、スタブアンテナ、 MIC/SP 端子キャップを含む)

## 送信部

空 中 線 電 力	: 1W/0.5W/0.2W( + 20%、- 50% 以内)
空 中 線 インピーダンス	: 50 $\Omega$ 不平衡
発 振 方 式	: 水晶発振制御による周波数シンセサイザ方式
周 波 数 許 容 偏 差	: $\pm$ 1.5ppm 以内
変 調 方 式	: 4 値 FSK
占 有 周 波 数 帯 域 幅	: 5.8kHz 以下
最 大 周 波 数 偏 移	: $\pm$ 1324Hz 以内
隣 接 チャンネル漏洩電力	: - 52dB 以下 (1W 時)
ス プ リ ア ス 発 射	: 2.5 $\mu$ W 以下 (1W 時)
不 要 輻 射	: 2.5 $\mu$ W 以下 (1W 時)
標 準 変 調 入 力	: - 44dBm $\pm$ 5dB
変 調 入 力 インピーダンス	: 600 $\Omega$

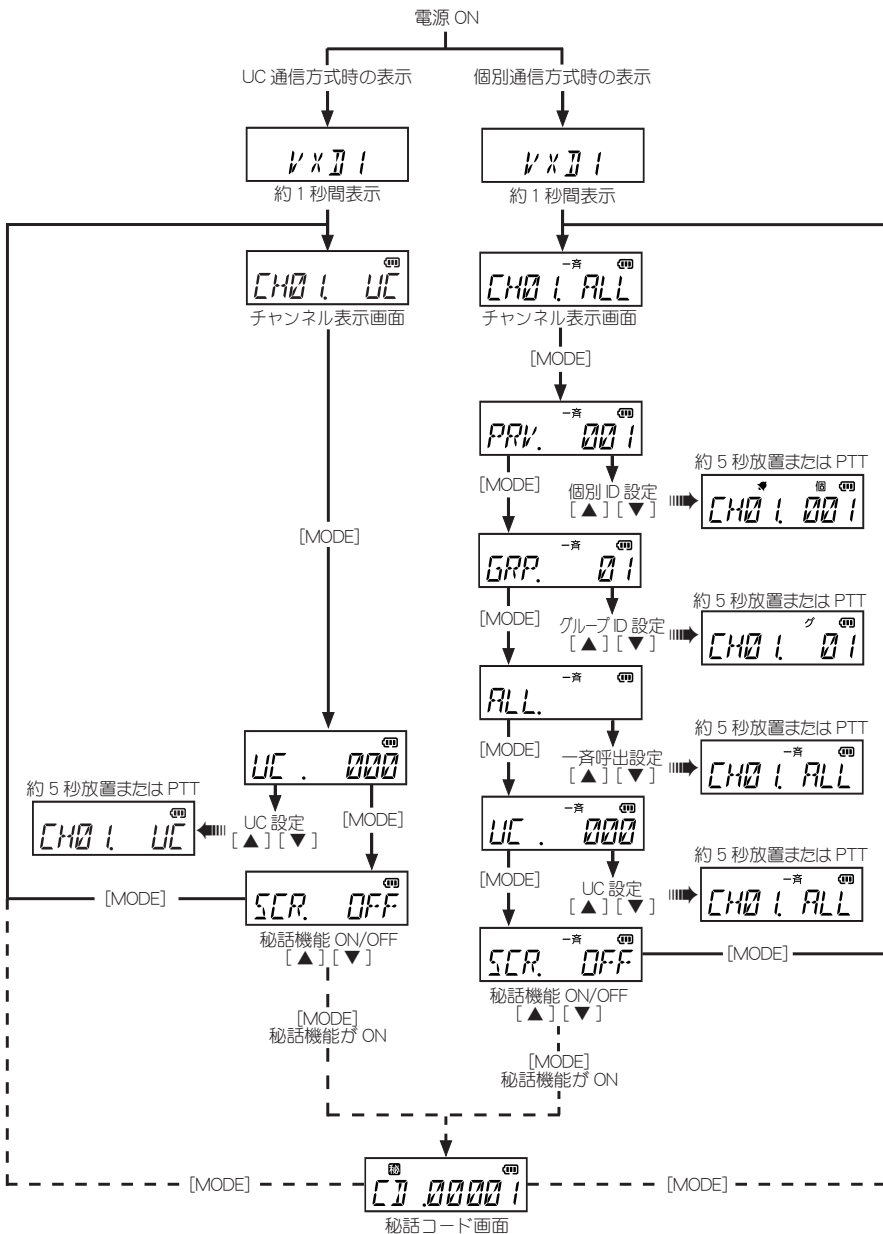
## 受信部

受 信 方 式	: ダイレクトコンバージョン方式
局 部 発 振 周 波 数	: 受信周波数 $\times$ 2
局 発 周 波 数 変 動	: $\pm$ 1.5ppm 以内
受 信 感 度	: - 2dB $\mu$ V (BER=1%)
ス プ リ ア ス レ ス ポ ン ス	: 53dB 以上 (BER=1%)
隣 接 チャンネル選択度	: 6.25kHz 42dB 以上 (BER=1%)
相 互 変 調 特 性	: 53dB 以上 (BER=1%)
低 周 波 出 力	: INT:500mW 以上 (10% 歪時)
低 周 波 出 力 インピーダンス	: INT:4 $\Omega$ EXT:16 $\Omega$
副次的に発する電波等の強度	: 4nW 以下

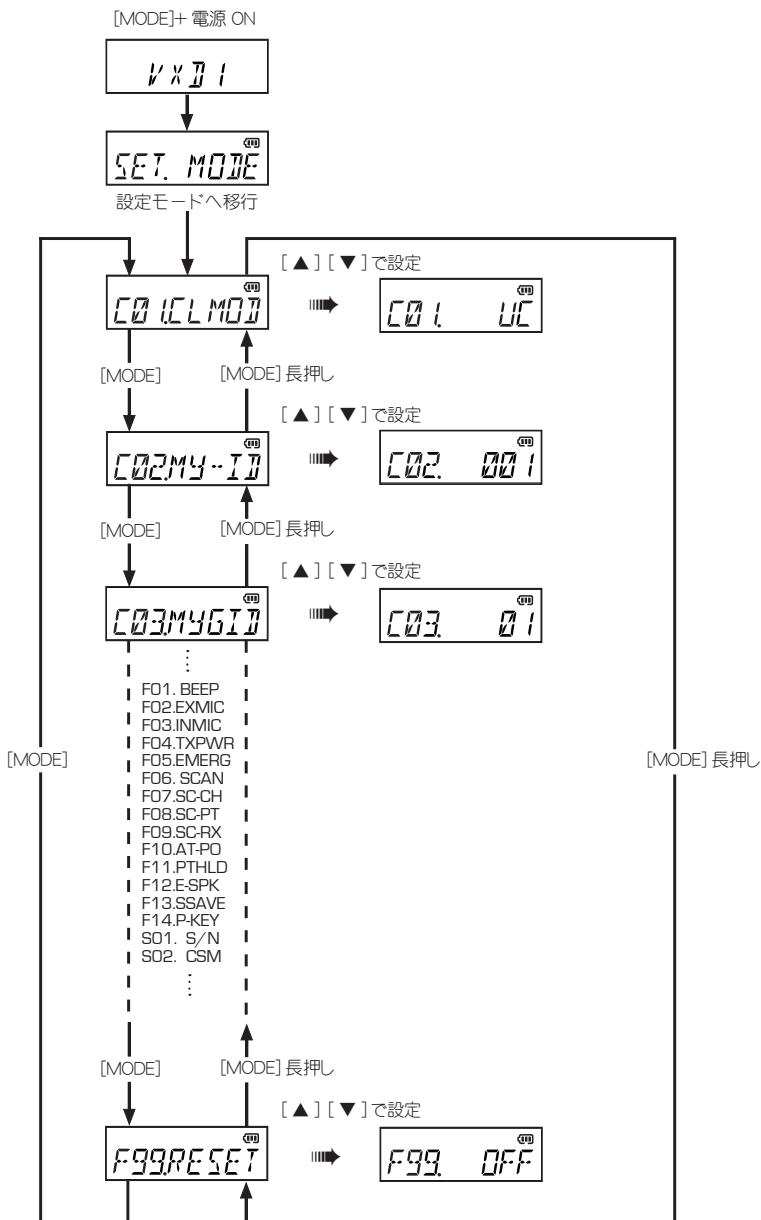
※ RoHS 指令準拠

# 付 録

## 操作の流れ (UC 通信方式、個別通信方式)



# 操作の流れ (設定モード)



## キー操作早見表

キー / スイッチ / ツマミ	動作			
	まわす	長押し		短押し
電源スイッチ (音量ツマミ)	電源 ON/OFF (音量調節)	—		—
MODE	—	キーロック		通信設定
		設定モード時	設定項目後退	設定モード時 設定項目選択
▲	—	早送り (チャンネルアップ)		チャンネルアップ
		設定モード時	設定値アップ方向 早送り選択	設定モード時 設定値アップ 方向選択
▼	—	早送り (チャンネルダウン)		チャンネルダウン
		設定モード時	設定値ダウン方向 早送り選択	設定モード時 設定値ダウン 方向選択
PTT	—	送信		送信
プログラマブル	—	緊急モード (初期値 : OFF)		プログラマブルキー (初期値 : OFF)
				2チャンネル スキャン (初期値)
MODE+ 電源スイッチ	—	設定モード*		—

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



# 索引

<b>記号</b>	
▲/▼キー .....	9
Onキー .....	9

<b>番号</b>	
2チャンネル	
スキャン機能 .....	32

<b>欧字</b>	
<b>A</b>	
ALL .....	24
AT-PO .....	47
<b>B</b>	
BEEP .....	38
<b>C</b>	
CLMOD .....	37
CSM .....	51
CSM コード確認 .....	51

<b>E</b>	
EMERG .....	42
E-SPK .....	49, 53
EXMIC .....	39, 53
<b>G</b>	
GRP .....	24
<b>I</b>	
INMIC .....	40
<b>L</b>	
LED インジケータ .....	8, 31
<b>M</b>	
MIC/SP 端子 .....	8
MODE キー .....	9
MYGID .....	38
MY-ID .....	37

<b>P</b>	
P-KEY .....	50
PRV .....	24
PTHLD .....	48
PTT (通話) スイッチ .....	8
PTT ホールド .....	48

<b>R</b>	
RESET .....	51

<b>S</b>	
SCAN .....	43
SC-CH .....	44
SC-PT .....	45
SC-RX .....	46
S/N .....	51
SSAVE .....	50

<b>T</b>	
TXPWR .....	41

<b>U</b>	
UC 通信方式 .....	17, 18
UC 通信の設定 と運用手順 .....	19
UC 通信方法 .....	20
UC の設定方法 .....	23
USB 端子 .....	9

## かな

<b>あ</b>	
アフターサービス .....	1
安全上のご注意 .....	3
アンテナコネクター .....	8
アンテナの取り付け .....	11
<b>い</b>	
一斉呼び出し .....	24, 28, 30
<b>お</b>	
オプション一覧表 .....	54
オプションの マイクロホン取り付け .....	52
音量調節ツマミ .....	8

<b>か</b>	
外部スピーカー設定 .....	49
外部マイク感度 .....	39
各種の便利な機能 .....	32
各部の名前と機能 .....	8

<b>き</b>	
キー操作早見表 .....	58
キーロック機能 .....	35

キーロックキー .....	9
キャリアセンス機能 .....	31
緊急アラーム機能 .....	33
緊急キー .....	9
緊急モード .....	42

## <

グループ ID .....	38
グループ呼び出し 24, 27, 30	

## こ

構成品 .....	2
コールチャンネル .....	17
故障かな?と思う前に .....	54
個別通信方式 .....	17, 24, 25
個別通信の設定 と運用手順 .....	25
個別呼び出し .....	24, 27, 30
個別呼び出しベル .....	10
個別呼び出し方法 .....	26
ご利用にあたって .....	1

## し

自局 ID .....	37
自動電源オフ .....	47
充電方法 .....	14
消音機能 .....	33
上空用チャンネル モニター .....	17
シリアル番号確認 .....	51

## す

スキャン .....	32, 43
スキャン CH .....	44
スキャン PTT .....	45
スキャン受信設定 .....	46
スーパーセーブ .....	50
スピーカー .....	9

## せ

設定モード .....	36
設定リセット .....	51
全員を一斉に呼び出す .....	24

## そ

操作の流れ .....	56, 57
送信出力 .....	41

<b>ち</b>		<b>ひ</b>	
チャンネル構成 .....	17	ビープレベル .....	38
<b>つ</b>		秘話通信機能 .....	34
通信方式 .....	17, 37	<b>ふ</b>	
通信方法 .....	20	付 録 .....	56
通話チャンネル ...	17, 21, 26	プログラマブルキー ...	9, 50
<b>て</b>		<b>へ</b>	
定 格 .....	55	ベルトクリップ .....	2
ディスプレイ .....	9, 10	ベルトクリップ	
デジタル簡易無線局		の取り付け .....	11
について .....	17	<b>ほ</b>	
電源スイッチ .....	8, 20, 26	防水性について .....	2
電池パック残量表示 .....	10	<b>ま</b>	
電池パック持続時間 .....	15	マイク .....	9
電池パック単体		マイク感度 .....	39, 40, 53
で充電する .....	15	マイクロホン感度	
電池パックについて .....	13	切り替え方法 .....	53
電池パックの充電方法 .....	14	マイクロホン補正設定 .....	53
電池パックの消耗 . 8, 10, 50		<b>め</b>	
電池パックを入れる .....	12	免責事項 .....	1
電池パックをトランシーバー		<b>ゆ</b>	
に入れて充電する .....	16	ユーザーコード通信 ...	17, 18
電池パックを取り出す .....	12	ユーザーコード通信方法 . 20	
電波干渉 .....	2	ユーザーコード	
<b>と</b>		の設定方法 .....	23
登録局 .....	17	<b>よ</b>	
特定の相手だけを		呼び出しを受けたとき .....	30
呼び出す .....	24	<b>り</b>	
<b>な</b>		リチウムイオン電池パックの	
内部マイク感度 .....	40	リサイクルについて .....	13
<b>は</b>		リセット .....	51
バックライト .....	9	<b>わ</b>	
ハンドストラップ		ワンタッチミュート .....	33
の取り付け .....	11		



---

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入  
いただいた販売店または、下記までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。  
詳しくは下記の URL をご覧ください。

**販売：八重洲無線株式会社 国内営業部**

〒 140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8  
天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

URL：<http://www.yaesu.com/jp/>

---

**製造：パーテックススタンダード LMR 合同会社**



© 2015-2016 パーテックススタンダード LMR 合同会社  
無断転載・複写を禁ず

中国印刷